日本キリスト教団東金教会〔３３〕

2019年8月18日 聖霊降臨節第１１主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って… コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	中里	
奏楽	中村	
受付	本島	
案内	中宮	
名札係	井上	
礼拝感謝祈祷	藤田	
〃　〃		
前奏	中村	
讃美歌３０	一同	
使徒信条５６６	〃	
交読文３１	司・会衆	
主の祈り５６４	一同	
聖書 ガラテア書２章１節～１０節	司会者	
祈祷	中里	
新聖歌３５５	一同	
み言葉の伝え	中村	
〈過去を振り返ってⅢ〉		
讃美歌３５５	一同	
献金		
礼拝感謝	井上	
〃　〃	藤田	
報告	中里	
頌栄５４１	一同	
祝祷(派遣)	中村	
後奏 新聖歌５８	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会 休　会
早天祈祷会 月-金7:00-(土/日/祭除く)
臨時長老会 本日礼拝後
聖書輪読会 ８月25日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 ８月25日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日はギデオン協会の方々が問安され聖書配布事業の紹介、又、そのための献金が献げられます。ご協力下さい。
☆礼拝後牧師誕生会が持たれます。ご出席下さい。
☆９月からの礼拝奉仕表ができております。お受け取り下さい。ご奉仕を希望の方は朴牧師まで申出下さい。
☆８月２１日の祈祷会は休会です。
☆次週のみ言葉の伝え担当は朴牧師です。

【臨時長老会】報告

日時…８月４日礼拝後　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　藤田　(書記)　森川　武田
議事…ギデオン協会問安の件

【定期長老会】報告

日時…８月１１日礼拝後　場所…教会事務室
出席…中村牧師　朴牧師　森川　(書記)　武田　宮中　井上
議事…①教・幼・保行事予定［8/18ギデオン協会問安の件　8/25朴牧師説教　9/1定期長老会(予定)　中村牧師北柏めぐみ教会創立30周年記念会出席　9/2幼稚園始業　9/3東総分区牧師会(メーヤー館)　9/15敬老会(司会・武田　長老　9/23幼・保運動会(祝辞・宮中　10/1東金教会創立130周年］　②承認案件　10月27日・朴牧師長浦教会説教出向の承認

【分区・支区・教区報告】

○東総分区牧師会 9/3 10:30～ 於・東金

【８月18日～８月24日誕生者】

○中村　牧師

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/11)	17	26	43
聖研祈祷会(8/14)			
聖書輪読会(8/11)	2	4	6
教会学校(8/11)	3	6	9

早天祈祷会			
日	男	女	計
8/12			
8/13			
8/14			
8/15			
8/16			

主日礼拝献金(８/１１)……３０,０００円
教会学校献金(８/１１)……５,３００円

【今日のメッセージ】

題　［過去を振り返ってⅢ］
聖　書　ガラテア書２章１節～１０節

1・信仰の源流

2・時代と信仰

3・役割の分担

【次週(８月２５日)礼拝案内】

題　〈思いがけない時に〉
聖　書　ルカ福音書１２:３５～４８
交読文　３２
讃美歌　６番　３９８番　２７４番

【次週(８月２５日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	…	朴
司式者	…	井上
奏楽者	…	中里
受付者	…	王
案内者	…	王
名札当番	…	安延
礼拝感謝祈祷	…	五木田
〃　〃	…	安延
csお話し	…	朴
会堂清掃者	…	武田
〃　〃	…	
花係	…	小林
看板書き	…	澤本

【聖書から】

それから三年後、ケファと知り合いになろうとしてエルサレムに上り、十五日間彼の許に滞在しましたが、他の使徒にはだれにも会わず、ただ主の兄弟ヤコブにだけ会いました。わたしがこのように書いてあることは、神の御前で断言しますが、うそをついているのではありません。

ガラテヤ書一章一八、十九節

神の御前で断言しますが、うそをついているのではありません！　パウロは「神の御前で断言しますが」と云う。当時の世界において、更に、神の民と主張するユダヤ人にとって、そしてそれ以上に律法を通し真剣に神に向き合ったパウロという個人にとっても「神の御前で！」と云うことは何を置いても真っ先に己の主張の正しさを主張する場であることは言うまでもない。彼は自らの名誉を賭け、誇りを賭けて彼が他の使徒たちから自由であり、彼らから何の教えも受けていないことを主張する。彼の教師はひとり神のみである。神は主イエス・キリストを通し、聖霊の司どりをもってパウロを教育する。パウロは祈り、聖書を通し、幻による啓示、その他言葉に尽くせぬ神のお取り扱いを通して信仰の教育を受けた。彼はその意味で全く常人と異なる霊の満たしの中で育てられた。彼はこのような人知を超えた経験をし、その中にあって精神に異常をきたすことなくひたすら神が与えられる霊の泉を浴び、それを惜しげもなく他に注いだ。それはそのようにすることを神が彼に求められ、枯渇することなき保証を与えるためであった。彼はこのような事実を傾注したのである。けれどもそのような事実は人の目には明らかではない。神はご自身の力を彼に注ぎつつ、それを他の者からは隠す。パウロはそのような経験をし、もどかしさの中で懸命に伝道する。それは予言者と言われる者が等しく経験したもどかしさである。神は土からできた者の限られ、ほころびのある器に神の霊を注ぎ、それを持ち運び、他に分け与えることを命じられる。隠された神の力を脆い土の器に敢えて綴じ込め、ご自身を私達に示される。そしてこのもどかしさの中でこそ、私達の信仰は育てられるのである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。